

# 進路通言 足跡 Step by Step

平成26年 12月24日発行 No. 3

## 校内推薦内定者決定

県立島内	三校	19名
県立島外	六校	12名
私立島内外	二校	4名
	合計	31名

当初47名の申し込み数から始まり、途中推薦辞退者が数名出る中で、判定会議を幾度か重ね、今年度の校内推薦内定者を決定致しました。

## 冬休みは”種まき”を！

※あくまで前底の意見ですのでご了承ください。

「あけまして、おめでとうございます。」という新年のご挨拶よりも今年は「受験生だけど、大丈夫？勉強してる？」という言葉を目にする3年生だと思います。もしかしたら2年生も近い言葉を耳にするかな……。そこで、現実逃避をしまわせずに、それを叱咤激励の言葉としてきちんと受け止め、少しでも前へ進む時間を過ごすことが大事だと私は考えます。

ここからの数カ月は、どんなスピードで過ごしても時間が足りません。増してや現実逃避をすればするほど、後々、後悔や焦りにつながります。”自分でまいた種”は必ず自分に返ってきます。だから”花の咲く種”を選び大きい種も小さい種も沢山まいてください。どんな”種”をまくかが勝負の分かれ道です。

そこで、前底からは種のまき方を二つ提案したいと思います。

### 1 試験に慣れる種

右にも書いてあるように、過去問対策は有効に使うと良い種になります。自分の得意不得意が一目でわかります。また、入試は”慣れ”です。問題を読むだけで動揺したりしては、どんなに対策を取っても無理です”解く”＝”慣れる”だと思います。

### 2 あいさつの種

受験生だから挨拶まわりは……。という家庭があります。ですが、人前で”あいさつ”を行うということは面接の練習にもなるかと考えます。特に大勢の場での”決意報告”は志望動機も含めて話させるととても良い効果があると思います。ついでに、公言すると”やるしかなくなる”ので……。大きな声で自信をもって挨拶ができるようになりましょう！

## まずは、過去問対策！

私は、14年の教職経験の中で3学年9クラスとほとんどが3学年担任という幸せな担任生活をしてまいりました。そこで一番効率の良かった過去問対策を提示したいと思います。ただ過去問を解くのでは無く、どう意識して取り組むかが大事です。

### 1 時間を決める(35分～40分)

当日の試験時間は50分です。その為10分～15分は見直しの時間を作らなければいけません。なので、問題の解く時間を上記の時間としてそれ以上解かずに、解答の時間に使います。

### 2 必ず解答をする。(間違いを確認する)

ただ解くだけでは意味がありません。必ず解答をして自分のできなかった問題を確認する。

### 3 間違いは問題ごと覚える。

間違った問題は、過去の教科書等で復習する時間はありません、問題と答えをセットで覚える事が大事です。

### 4 5年分以上の過去問を解く！

入試問題は”慣れ”です。とにかく数をこなす事が大事だと考えます。

## 保護者の皆様へ お願いと連絡

### ☆ 生活リズムと身なりの徹底。

冬服のスタートに入り少しは身なりの意識も出てくる頃かと考えていましたが、やはりまだまだ意識の低い生徒が見受けられます。身なり指導はご家庭でのご協力が必要不可欠ですので、”目を光らせて”徹底してください。3学期身なり指導からスタートする事は避けたいです。また、”寝正月”を過ごすご家庭もある事と思いますが、受験生は”生活リズム”はとても重要です。寝正月”をしてても”リズム”つけてくださいませ。